はじめに　～災害に強いまちづくりの実現に向けて～

近年、全国各地で豪雨災害をはじめ、地震などの自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしています。東日本大震災以降では､鬼怒川が決壊した平成27年関東・東北豪雨、震度７を２度観測した平成28年熊本地震、そして令和元年には関東地方を直撃した台風第15号（令和元年房総半島台風）と台風第19号（令和元年東日本台風）など、これまでの想定を超えた自然の猛威が各地を襲いました。

特に、台風第19号では、利根川が氾濫危険水位を超えたため、春日部市市制施行後初めての避難勧告を発令する事態となり、改めて自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。

こうしたこれまでの経験を基に、春日部市ではいつ起こるか分からない災害の発生に備えて、対策の強化を図っておりますが、災害が発生した場合、市や防災関係機関の対応だけでは立ち向かうことはできません。被害を最小限にとどめるためには、自助・共助を、市民の皆さま一人ひとりが心掛けていただき、実践することが大切です。

この新しい災害ハザードマップは、洪水時の浸水区域や浸水深に関する情報のほか、災害情報の入手方法、水害時のマイ・タイムラインなど、より実用的な内容となっております。ご家庭のみならず地域や職場など、あらゆる場面でご活用いただき、災害時に備えていただきたいと思います。

今後も市民の皆さまの大切な生命、財産を守るため、全力で防災・減災対策に取り組んでまいりますので、市民の皆さまも引き続き「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神のもと、ご協力をお願いいたします。

2021年（令和3年）6月

CONTENTS　ー もくじ ー

- 表紙上写真:赤浜で被災した観光船「はまゆり」(大槌町)／表紙下写真:「台風19号時の川越市」((株)パスコ／国際航業(株)) 表紙
- 過去の大災害の教訓を活かし、防災・減災へ／マイタイムラインを作ってみよう …… 1
- 日本の近年の災害について／令和元年東日本台風（台風第19号） …… 2-3
- 地震の被害と対応／日頃から地震に備えて、自宅を点検しておこう！ …… 4-5
- 春日部市に想定されている地震（揺れやすさマップ・液状化危険度マップ） …… 6-7
- 洪水の危険性と注意点／浸水の深さと避難行動 …… 8-9
- マイ・タイムラインをつくろう …… 10-11
- 洪水ハザードマップとは／春日部市の河川情報／地図の見方・凡例(Multilingual) …… 12-13
- 洪水リスクマップー利根川１「庄和・幸松」 …… 14-15
- 洪水リスクマップー利根川２「内牧・幸松・豊春・粕壁」 …… 16-17
- 洪水リスクマップー利根川３「幸松・庄和・粕壁・豊野」 …… 18-19
- 洪水リスクマップー利根川４「豊春・粕壁・武里」 …… 20-21
- 洪水リスクマップー利根川５「武里・豊野・庄和」 …… 22-23
- 洪水リスクマップー江戸川１「庄和・幸松」 …… 24-25
- 洪水リスクマップー江戸川２「内牧・幸松・豊春・粕壁」 …… 26-27
- 洪水リスクマップー江戸川３「幸松・庄和・粕壁・豊野」 …… 28-29
- 洪水リスクマップー江戸川４「豊春・粕壁・武里」 …… 30-31
- 洪水リスクマップー江戸川５「武里・豊野・庄和」 …… 32-33
- 洪水リスクマップー荒川／大落古利根川・新方川・中川・元荒川「春日部市全域」 …… 34-35
- 自助、共助～避難の心得／自主防災組織の活動に参加しましょう！ …… 36-37
- 避難所での注意点 …… 38-39
- 災害情報の伝達方法と入手先／非常時の持ち物、備蓄品 …… 40-41
- 指定避難先一覧 …… 裏表紙

～過去の大災害の教訓を活かし、防災・減災へ～

過去に発生した大災害について、みなさんはどのくらい記憶に残っていますか?
将来、起こりうる大災害について、みなさんはどのくらい理解していますか?

2011年（平成23年）3月11日に東北太平洋沖で発生した「東日本大震災」、2019年（令和元年）10月12日に関東地方に上陸した超大型台風「台風第19号」では、東北・関東地方に甚大な被害をもたらし、春日部市にも大きな影響がありました。

災害はいつ、どこで、どの程度の規模で発生するのかわかりません。「その日」は数年後、数十年後、あるいは明日かもしれません。自分や大切な人を守るためには、起こりうる災害を理解し、日頃から適切な備えをしておく必要があります。

ハザードマップはあくまで想定図ですが、マップを活用して事前に災害をイメージし、避難行動について準備することができれば、いざという時に慌てずに行動することができます。

本災害ハザードマップには、さまざまな防災に関する情報を掲載していますので、あらかじめ目を通しておいていただき、みなさん一人ひとりの災害に対する日頃の備えに役立ててください。

家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、
最寄りの避難所を複数選びましょう。

実際に避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難所までの経路を確認しましょう。避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。

家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、浸水が想定されている地域ですか?
家の周りにブロック塀などの
危険な場所はありませんか?

災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や
よく行く場所などについても
避難所や危険性を
確認しましょう。

マイ・タイムラインを作ってみよう

P10～11

●マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに、自分や家族が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。
いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように、個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

本冊子の地図部分は、「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 752」を得て作成。